



ライラック友の会ニュースその一
2019年11月2日：第44回ミーティング報告



2019年12月13日 関西支部：山本

全国のライラックを愛する皆さん、お元気でしょうか。
さて、11月2日（土）浜松市引佐の国民宿舎奥浜名湖荘にて第44回ライラックの集いが開催されました。
元丸正自動車からは設計の高須さん、友の会会員のみなさんが全国よりこの日の為に集まりました。ライラック談義は勿論、皆さんお歳？ですので健康談議でも大いに盛り上がりました。
春のツーリング大会は5月30日、31日、長野県で開催が決まりました。
今後も遠藤会長体制のもとに、末永く開催される事を誓い、解散しました。



第44回ミーティング集合写真 AS71とベビーライラック

参加車両
春のツーリングも参加のベビーライラック
ライラック発展の礎となった名車

爆走王も参加
LS18 SPECIAL



20年早すぎた悲劇のスクーターAS71



設計の高須さん(右)とオーナーの坂井さん



当時としては画期的な片持ちサスと樹脂製フェンダー



▲昭和35年夏、モベットAS71の市販化に向けテストを重ねる溝淵(右)

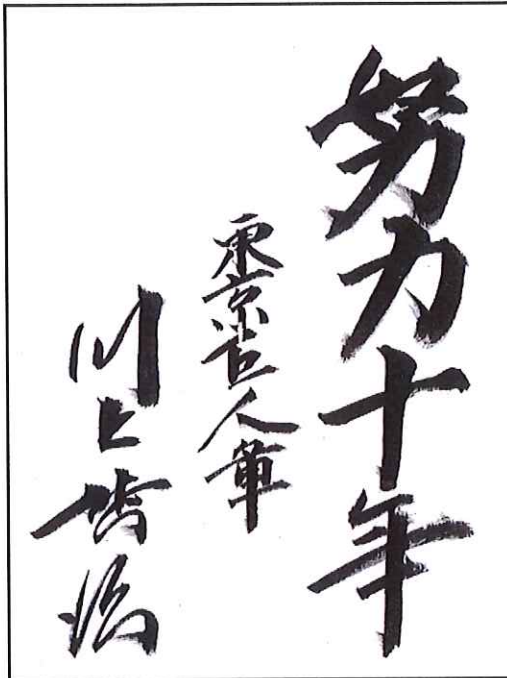
左は AS71のテストする若き日の溝淵さんと高須さん？

これも悲劇のホンダH1300 会員さん所有



ライラック友の会ニュースその二
ライラックとプロ野球

ライラックの宣伝に巨人軍の川上哲治と長嶋茂雄を起用したのは有名な話です。下の色紙は川上哲治から故伊藤社長に贈られたものです。居間に飾られていたとのことで、大事にされていたのでしょう。この度 遺族の伊藤通江さんから会に寄贈して頂きました。

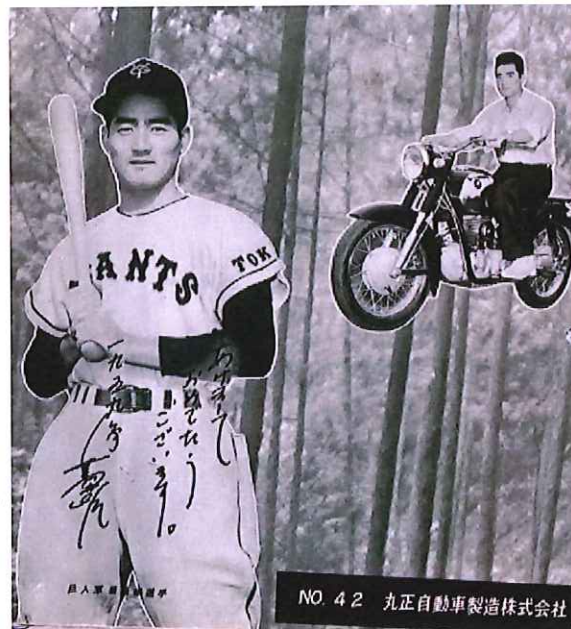


右は川上とKE号
後ろは国鉄宇野
昭和29年3月
ライラックタイムス



努力の人川上哲治らしい色紙

右はライラックタイムス42号表紙の長嶋茂雄。昭和33年12月15日発行とありますので、プロ野球デビューの年です。いきなり本塁打王、打点王を獲得、新人王に輝きました。ただ昭和33年の白黒テレビ普及率は30%。この直後に白黒テレビ普及率は急上昇し、読売グループの新聞、テレビを駆使したメディア戦略もあり、「巨人 大鵬卵焼き」の時代となります。全国区の巨人軍選手を宣伝に起用したのは先見の明がりましたが、オートバイと同じく少し早すぎました。この後、R92を発売していた昭和40年には白黒テレビ普及率は90%となり本格的なテレビの時代到来、そして巨人V9と続きます。



オートバイはFY5

高須さんとの会話から
— 宣伝部長なら —

巨人 大鵬卵焼き世代としては、巨人といえばホンダとなります。技術力、シエアは他社を圧倒、まさにV9の巨人です。ライラックのイメージとしては明るく、スマートで洗練されていて都会的。そうすると東急フライヤーズなんかイメージに合います。昭和22年から天才青バットの 大下弘にプレイングマネージャーの 荻田久徳が活躍。しかし、残念ながらライラック全盛時には大下は西鉄移籍、荻田は近鉄を最後に引退してました。そうすると浜松に近い中日ドラゴンズ。高須さんもファンでライラック全盛時の昭和29年に優勝日本一。観客動員も30年には巨人を抜きました。右は当時の大スター 杉下茂、西沢道夫。(小鶴誠もドラゴンズ出身、大映スターズ)



訃報

大久保 泰宏さん(神奈川県横浜市)が12月1日に逝去されました。享年76歳。ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでお悔やみを申し上げます。

在りし日の大久保さん(前列)

愛車LS18レーサー

